

保護者への報告、進路の相談、家庭環境を知る

夜回り
山田先生
西陵商ラグビー部元監督

6



◆山田耕二(やまた・けんじ) 1942(昭和17)年5月23日生まれ。73歳。74年、西陵商ラグビー部監督に就任以降29年間で全国高校ラグビー大会に19回出場、97年には愛知県勢として史上初の優勝。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

練習が終わった後の家庭訪問にいきなり聞は毎日、1軒ずつ回っている。「誰か」生徒の自宅は名古屋市内ムの中で、他の生徒に無理強だけではない。豊田市なをいしているやつはいない。どの近隣市町村から来たか「そういえばこの間、課題生徒もいた。彼らの家に行くを忘れて〇〇先生に呼び出し家まで向かった。道中、1対1でいろいろな会話をした。」「最近調子はどうか」「誰か」1対1で話をしていること

で、生徒たちは「自分のこと」に上られますよ。など、を気にかけてくれている」と少しでも成長している姿を、家庭訪問の目的は主に3つ。まず生徒の現状を保護者にはラグビーの実績に加えてに伝えること。毎日練習頑張る評価平均がこれだけ必要だか

頭張ろう」「〇〇社に就職するにはラグビーだけ頑張っているだけではだめだ。他のことも」だけだけ頑張ろう」。親子で共通の目標に向かって、課題を共有していきましょう。最後に、最も大切なことが、生徒の正しい立ち方を知ること。どういった環境でどのように行き、玄関を開けてみないと分からない、その家その家の問題が多いものだ。

家庭訪問には3つの目的

実は朝鮮籍…重い口を開いた母親

夜回り
山田先生
西陵商ラグビー部元監督

7



◆山田耕二(やまた・けんじ) 名古屋出身の73歳。元ラグビー日本代表。西陵商(現西陵)監督として1997年、全国高校大会で愛知県勢として初優勝。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

家庭訪問で初めて知る事実合で鎖骨を折り、現地の病院もあった。例えば、A君は朝鮮籍を持つ在日朝鮮人だった。高校には「通名」で通っていた。学校に戸籍を提出するわけではないので、私自身、彼が朝鮮籍だと知らなかった。私は朝鮮半島の方々に非常感謝している。日体大2年

受ける。私はすっかり回復した。家庭によつては、玄関先別意識を持った人はいない。私と言った瞬間に目の前でドアをお返ししたい、力になりそうにされたこともあった。食卓を囲み、私の心も和んで、お母さんが今ちょうどお母さんが重い口を開いた。で、召し上がったっていいんだ。「実はうち、主人が朝鮮籍な

私が、前述した韓国での厚遇の話をすると、ほっとした表情をされた。そこで入院当時に看護師に教わった当時の韓国のヒット曲「アリアン」や民謡の「アリアン」を口ずさむと、大変喜んでくれた。この日をきっかけに関係はさらに深まり、家庭訪問の度にキムチ鍋なんかをこちそうになるようになった。A君の就職先も、外国籍でも分け隔てなく採用してくれる企業を家族と一緒に探し、無事に入社できた。学校では見えない家庭での悩みごとまで、あえて一歩踏み込むことで、より深い信頼関係を築ける。

時間をかけて築いた信頼関係

言葉遣いだけでなく頭の下げ方や身振りも指導

夜回り
山田先生
西陵商ラグビー部元監督

8



◆山田耕二(やまた・けんじ) 名古屋出身の73歳。元ラグビー日本代表。西陵商(現西陵)監督として1997年、全国高校大会で愛知県勢初優勝に導く。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

ラグビーは団体スポーツで、司令塔や、前線で動く選手、それぞれ役割を果たし、長所を生かし、助け合

あいつでなければ、それだけ底底的に教え込んだ。ただあいつをするだけであつた。「自分が下手に出て相手を持ち上げるなんて、それでは人間の平等の原則を定することに出来ないか」。一部の先生方から批判された。このような意見に真つ向から反論するのあまり得策はない。そう思った私は、西陵商の生活指導主任として生徒らにあることを実践させ、結果をもって納得してもらおうと考えた。

徹底的に教えたあいつ

いったことも大切だと話した。校内で反発を招いたこともあつた。「自分が下手に出て相手を持ち上げるなんて、それでは人間の平等の原則を定することに出来ないか」。一部の先生方から批判された。このような意見に真つ向から反論するのあまり得策はない。そう思った私は、西陵商の生活指導主任として生徒らにあることを実践させ、結果をもって納得してもらおうと考えた。